

土木工事における

「情報共有システム(ASP)」

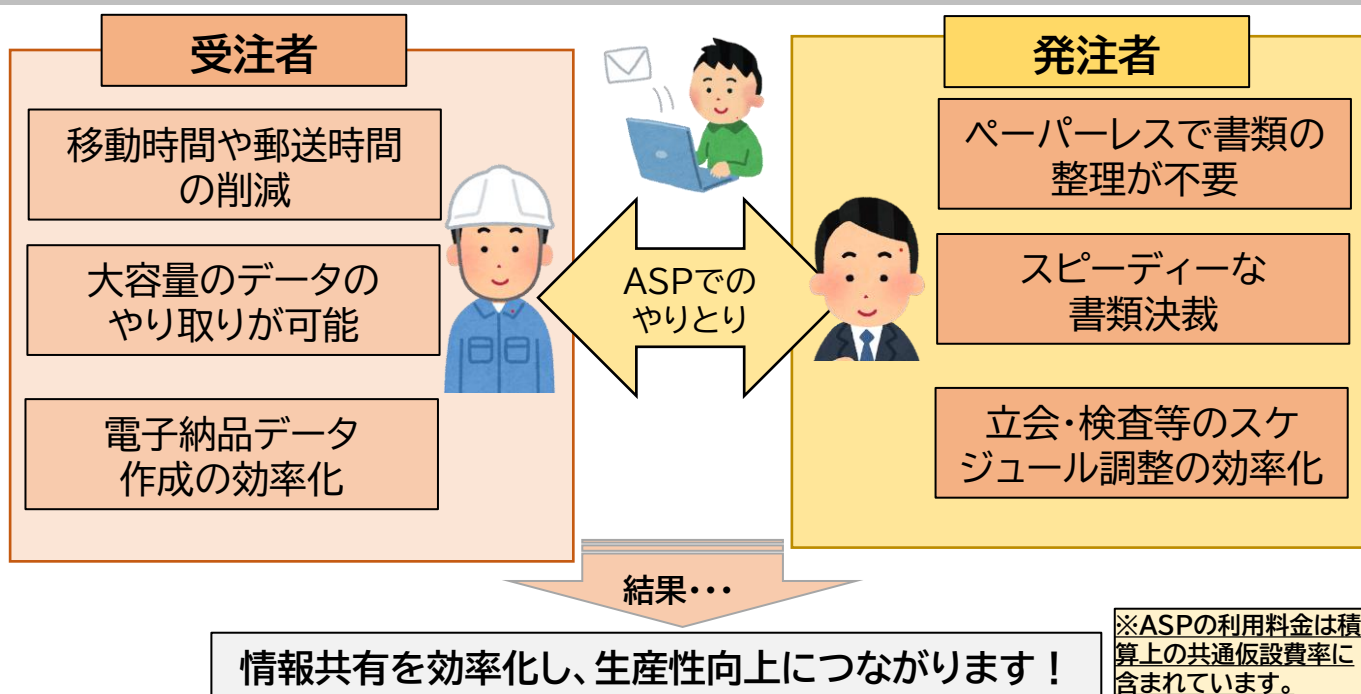
もっと使ってみましょう！

➤ 情報共有システム(ASP)とは？

- 公共事業において、情報通信技術を活用し、受発注者間など異なる組織間で情報を交換・共有することによって業務効率化を実現するシステムのこと。
- ASP(※)を利用し、受発注者がクラウド上で資料の提出・確認・承認・スケジュール管理等の情報を共有することで、従来の紙提出資料と比べて業務の効率化が図れます。

※Application Service Provider の略。アプリケーションソフト等のサービス(機能)をネットワーク経由で提供するプロバイダ(事業者・人・仕組み等全般)のこと

○情報共有システム(ASP)を活用することでの効果



※ASPの利用料金は積算上の共通仮設費率に含まれています。

➤ 熊本市が発注する土木工事で利用可能な情報共有システムについて



【利用マニュアル】
<https://www.kentem.jp/support/manual/>

▲情報共有システム RevSIGN
(株式会社 建設システム)



【利用マニュアル】
<https://www.wingbeat.net/asper/support.php>

▲電納 ASPer
(株式会社 建設総合サービス)



【利用マニュアル】
<https://support.genbasupport.com/gcloud-list/document-manager/>

▲現場クラウド One
(株式会社 現場サポート)



【利用マニュアル】
<https://www.kumamoto.calsasp.io/download.html>

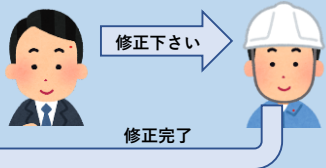
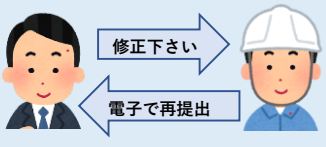
▲工事監理官
(日本電気 株式会社)

➤ 情報共有システム(ASP)の活用効果の具体事例の紹介

➤ 移動時間や郵送時間の削減

⇒ASPでは、工事書類や写真、図面などの情報をクラウド上で提出・確認・決裁することが可能です。

これにより、書類提出に伴う発注事務所の訪問が不要となり、その時間を現場管理等他の作業に充てることができます。

	作成	提出	決裁	修正時
従来	ワープロ・表計算ソフトで入力 	紙印刷⇒押印⇒移動  紙印刷に戻る	紙資料に押印⇒郵送 	修正事項をワープロ・表計算ソフトで修正 ⇒紙印刷⇒押印⇒移動⇒再提出  修正下さい 修正完了
ASP	システムで入力 	電子で提出 	システムで電子押印 	システムで修正⇒電子で再提出  修正下さい 電子で再提出

➤ 電子納品作成支援の効率化

⇒「工事帳票」等の紙書類から電子納品データを作成する際には、書類を全て電子化する必要があり、スキャニングなどの電子化の作業が負担となりますが、ASPを利用するとASP内での書類は、電子納品要領に合わせて生成されたデータを一括ダウンロードして電子納品データを作成できます。

➤ 土木工事における情報共有システムの活用について

- ✓ 情報共有システムの利用を希望する場合は、以下の活用要領等に従い工事発注課と協議を行ってください。



▲土木工事における情報共有システムの活用について

【活用要領等について】

- ✓ 熊本市情報共有システム活用要領
- ✓ 別表 熊本市が発注する土木工事で利用可能な情報共有システムについて
- ✓ 別紙1_特記仕様書の記載例
- ✓ 様式1_事前協議シート

■問い合わせ先

熊本市総務局契約監理部技術管理課 TEL.096-328-2543

Mail: gijutsukanri@city.kumamoto.lg.jp

URL: <https://www.city.kumamoto.jp/kiji0032788/index.html>